



『SDGs』の目標4・16に
貢献します。

全国のイトーヨーカドーの店舗で9月1日(日)から

トーゴ共和国の「障がいのある子どもの教育支援のための」レジ横募金を開始

株式会社イトーヨーカ堂（代表取締役社長：三枝 富博、以下：イトーヨーカドー）は、2019年9月1日（日）～11月30日（土）の3か月間、全国のイトーヨーカドー、ザ・プライス全店舗の会計レジにてトーゴ共和国の「障がいのある子どもの教育支援」プロジェクトのための募金を実施いたします※。（※セルフレジ等、一部設置不可のレジを除く。）

アフリカ大陸の西部に位置するトーゴ共和国では、学校施設等の学習環境が整備できないため、障がいを持つ子供達に十分な教育が行き届いていないといわれております。イトーヨーカドーは、この課題に対し、国際 NGO プラン・インターナショナルと協力し、学校環境の整備や、教師・保護者へのトレーニング等を通じて、障がいのある子どもたちが社会で居場所を得て自立していくことを目指し、募金活動を実施いたします。

当社では、国内の GMS（総合スーパー）として、初めて全国のイトーヨーカドー、ザ・プライスの全店舗の会計レジに募金箱を通年設置し、年間を通じてお客様・従業員への募金を呼び掛ける活動を行っております。この募金は3か月単位で様々な社会課題の解決への一助になるテーマを決めて実施してまいります。

<展開事例>



【レジの募金箱:イトーヨーカドー】 【店内ポスター:イトーヨーカドー】 【保護され、学校で学べることを喜ぶ子供達】

イトーヨーカドーは、一つの社会的課題に偏らず、様々な分野への課題に向き合っており、今後もお客様・従業員と共に事業活動を通じた社会的課題を解決する活動を行ってまいります。

※出典: 25 February 2015 SOUTH ASIA – Fact Sheet International Labour Office Children in labour and employment(PDF)

以上